

科 目 名	臨床栄養学概論					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	久 野 一 恵						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	本科目は、医療職である管理栄養士が担うべき栄養管理について、理解し実践するために必要な基本的用語について説明しながら、その意義や役割について解説する。具体的にどのようなプロセスが必要なのかについて、実例を挙げて概説する。						
授 業 の 到 達 目 標	臨床栄養管理の概要を説明できる。 管理栄養士としての使命を理解している。 医療制度下での管理栄養士の業務を説明できる。 栄養ケア・マネジメントを説明できる。 簡単な症例について栄養スクリーニングとアセスメントが実施できる。 栄養補給法の違いを理解し、患者に応じた方法を提案できる。 患者に応じた経腸栄養剤の選択ができる。 患者に応じた栄養補給ルートの提案をすることができる。 使用されている静脈栄養を理解している。 患者に栄養管理の必要性を説明できる。 食品と医薬品の相互作用について説明できる。 医療制度・介護制度の基本を説明できる。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	「改訂臨床栄養学Ⅰ」 鈴木博・中村丁次 編（建帛社）						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎	◎	◎	90		
小テスト等	○	○	○	○	10		
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	臨床栄養学の意義と目的						
第 2 週	臨床栄養の基礎						
第 3 週	臨床検査						
第 4 週	栄養管理の考え方						
第 5 週	栄養状態の評価判定（1）						
第 6 週	栄養状態の評価判定（2）						
第 7 週	傷病者・要介護者の必要栄養量						
第 8 週	栄養補給法（1）						
第 9 週	栄養補給法（2）						
第 10 週	食品と医薬品の相互作用						
第 11 週	栄養ケアの記録						
第 12 週	医療と臨床栄養						
第 13 週	福祉・介護と栄養管理						
第 14 週	在宅栄養管理						
第 15 週	医療・介護の基本						
第 16 週	試験						
備 考	授業準備：指示された箇所の教科書を通読して授業に臨むこと。 事後学習：受講ノートを整理すること。						